

タイ・ベトナム環境学習キャンプ2023 報告（後半）

中込貴芳（なかごみきよし）

<今回のキャンプの旅 2023年8月14日～24日>

14日 成田出発 ハノイ経由でバンコクへ グランドビューホテル泊

15日 バンライへ パンダキャンプ近くの民宿泊

16日 ワークショップ（発酵の実験、パネルシアター、
日本のエッセンシャルオイルについて） 民宿泊

17日 Tham Than Pod National Park(鍾乳洞観察) コテージ泊

18日 国立公園よりバンライへ タイマッサージ 民宿泊

19日 バンライからバンコクへ グランドビューホテル泊

20日 バンコクからハノイ Bendecir Hotel & Spa 泊

21日 LOD（派遣会社の日本語学校）訪問 Bendecir Hotel & Spa 泊

22日 ハロン湾観光ツアー Bendecir Hotel & Spa 泊

23日 ホーチミン廟、ホーチミン博物館、水上人形劇 深夜成田へ

24日 朝成田着



<ホーチミン博物館にて>

20日、タイに別れを告げてベトナムに向かう。タイで電車に乗って自力でスワンブーム空港に向かうのは、いつもタイの先生方に送ってもらっていたので初めてだ。空港には難なくついたが、タイに行き始めた頃に比べれば、当然のことながらタイも随分便利になったものだと思う。

ハノイ行きのベトジェットチェックインカウンターでは、地元の乗客は何も気にした様子もなく大きな荷物でチェックインしている。LCC なので荷物の超過料金を気にして前日に荷物を分担して詰め替えたがその必要は全くなかった。搭乗手続きは簡単に済んだが、飛行機の到着の遅れで乗り込む前から待たされ、搭乗してからもなかなか出発しない。出発まで飛行機の中で3時間近く待たされ、夕方に着くはずのノイバイ空港に着いた頃にはもうすっかり夜になっていた。その後、タクシーに乗り、ホテルにようやく辿り着たのは10時近くになっていた。後で知ったが、待たされ原因はノイバイ空港の豪雨だったらしい。

翌日は、LOD という友人が勤める派遣会社が経営する語学学校を訪問する。朝食を食べたあと、ホテルでタクシーを手配してもらい学校に向かう。着いたところは大きな門があるビルで、ちょっと普通の学校とは違う雰囲気がある。それもそのはずで、ここは3ヶ月あまり日本語や日本でのマナーなどをしっかり学習し、日本の企業に技能実習生として働きに行く人材を養成している全寮制の学校というか教育施設だ。学んでいる学生はすでに日本の企業との面接を済ませ

派遣される場所が決まっているという。

タクシーから降り、門番の人に訪問の目的を分かってもらおうとしたが、全く日本語も英語も通じない。困っているところに、たまたまバイクでやって来た人が友人に取り次いでくれて、ようやく中に入ることができた。その後、友人の生活している学校内にある職員寮に行き、時間も昼近くになっていたので、一旦、付近の散策をかねて昼食をとり外に出た。学校の周りは、ベトナムの庶民が暮らす街でそこを歩いて、友人がよく行くという店でベトナムのつけ麺BUNを食べサトウキビジュースを飲んだり果物を買ったりしてから学校に戻った。

戻った後は、授業見学と授業参加だ。いくつかのクラスで横山さんはパネルシアターをし、自分たちは、学生たちの日本語の質問に答えたり、質問をしたりして授業に参加した。しっかり、答えられた生徒には日本から持ってきたお土産をプレゼントした。ここで勉強している学生は、日本で働いてお金を稼ぐという目的意識がはっきりしているので学習意欲がとても高く、とても素直で明るく挨拶もしっかりしている。つい自分が教えていた日本の高校生と比較してしまい羨ましいと思う。



語学学校での授業と生徒たち

訪問後は、ホテルに戻り近くにあるホアンキエム湖を散策したりして過ごし、夜は友人とお勧めフエ料理のレストランに夕食を食べに行った。宿泊しているホテルはハノイの中心部にある背の高いこじんまりとした Bendecir Hotel & Spa という名のホテルで、フロントの女性が日本語は話さないが綺麗な英語でとても親切で笑顔で接してくれて、フレンドリーなとても雰囲気の良いホテルだ。屋上が朝食会場になっていてバイキングの種類も豊富でとても美味しい。



フエ両料理の店にて



ハロン湾の鍾乳洞

翌日の22日は、1日のハロン湾クルーズに参加する。朝、ホテルに迎えに来たバスに乗り込みハロン湾を目指す。バスの中ではガイドが一生涯懸命何やら熱心に説明しているが、英語が独特のアクセントでよく聞き取れない。ハロン湾はハノイからは少し離れているが、湾の中に島が点在する景勝地だ。このツアーは昼食付きで、島に上陸して泳いだり、山上まで登ったり、鍾乳洞を巡ったり、カヌーを体験したりできる盛り沢山のツアーだ。最後は、サンセットクルーズになって船上で夕日を見ながらツアーを楽しんだ。遅くにホテルに着いたので開いている店が少なかったため、お勧めの場所をフロントに聞くと、ドアボーイ親切に、よく庶民が行くような行きつけのおすすめの店にわざわざその場所まで案内してくれた。ベトナムのホテルはとても居心地がいい。



ハロン湾の眺め

23日は、帰国する日。帰りの便が、深夜なのでハノイで一日過ごす時間がある。やはり、ベトナムに来たからには、ベトナム統一の英雄ホーチミンの廟に行かねばならない。ホーチミン廟は、見学時間が午前中に限られていて注意が必要だ。カメラなどの荷物を預けなければいけないなど制限も厳しい。ホーチミンの遺体は廟の中に静かに眠っていた。その後、ホーチミ

ン博物館を見学し、ホーチミンの家に行こうとタクシーに乗ったが、そこで騙された。タクシーはホーチミン廟のある公園をほぼ一周して乗った場所の近くに止まりここがホーチミンの家だという。その間に料金を細工がしてあるらしくどんどん上がっていき、ホテルからホーチミン廟までの料金の何十倍の料金を請求されてしまった。ハノイのタクシーは、要注意という予備知識は持っていたもののまんまと騙されてしまったわけだ。もう路上駐車しているタクシーは信用できない。それからどうやってホテルまで帰ろうか思案したところ、一番信用できる場所はホテルのフロントだと考え、近くのホテルを見つけてそこで車を呼んでもらい宿泊しているホテルに戻ることができた。ハノイではライドシェアが確立していて、ホテルではアプリを使って近くを走っている車と交渉し予め料金決めてリーズナブル料金で目的地まで行くことができ、こちらの方が断然安全だ。



ハロン湾でのカヌー体験



バインミーを食べる

ホテルに帰った後は、近くで、一度は食べなければいけないと言われていたフランスパンのサンドイッチ、バインミーを食べ、自分はそのホテルでゆっくりマッサージをしてもらい、夕方みんなで有名な水上人形劇を観て過ごし帰国の途に着いた。



水上人形劇

久しぶりのタイは古くからの友人との再会を喜び、その発展ぶりに驚き、初めてのベトナムは、とても親しみやすい場所であると感じた。 (完)